

VIII 研究活動と研究体制の整備

教員個人の研究・社会活動については「XIII 教員の研究教育・社会貢献活動」に示した。

1 財務・研究費

1-1 学外からの研究費補助

1-1-1 科学研究費補助金の申請・採択状況

研究種目	審査区分	H22		H23		H24		H25		H26		H27	
		申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択	申請	採択
特別推進研究 5億円程度 期間3～5年													
特定研究領域 2千万～6億円程度 期間3～6年	計画												
	公募												
基盤研究 (S) 5千万円以上1億円程度 期間5年													
基盤研究 (A) 2千万円以上5千万円以下 期間2～4年	一般	<1> 1	<1> 1	<1> 1	<1> 1	1	0	0	0	0	0	0	0
	海外学術調査												
基盤研究 (B) 5百万円以上2千万円以下 期間2～4年	一般	<1> 3	<1> 1	<3> 7	<3> 3	<2> 3	<2> 3	<3> 10	<3> 7	<2> 3	<2> 2	<1> 4	<1> 1
	海外学術調査				1								
基盤研究 (C) 5百万円以下 期間2～4年 企画調査は1年	一般	<12> 41	<12> 20	<14> 38	<14> 24	<19> 40	<19> 24	<17> 53	<17> 40	<17> 45	<17> 29	<21> 38	<21> 25
	一般時限												
	企画調査												
萌芽研究 5百万円以下 期間1～3年		11	3	<3> 8	<3> 4	<2> 13	<2> 5	<4> 19	<4> 10	<4> 8	<4> 6	<4> 12	<4> 4
若手研究 (A) 5百万円以上2千万円以下 期間2～3年													
若手研究 (B) 5百万円以上2千万円以下 期間2～3年		<3> 10	<3> 5	<3> 8	<3> 4	<3> 7	<4> 5	<2> 10	<2> 5	<2> 5	<2> 3	<3> 5	<3> 5
研究成果公開促進費		1	1	<1> 2	<1> 1	1						4	1
研究活動スタート支援						<1> 3	<1> 1						
特別研究員奨励費 期間3年以内		2	2	2	2	<1> 1	<1> 1	<2> 2	<1> 2	<1> 1	<1> 1	<1> 1	<1> 1
奨励研究								4	1	2		4	1
合計		<17> 69	<17> 33	<17> 65	<17> 38	<29> 72	<29> 42	<27> 98	<27> 65	<26> 64	<26> 41	<30> 68	<30> 37

※申請欄の数には、転出者を含め転入者を含めない。採択欄の数には、転入者を含め転出者を含めない。

※〈 〉付き数字は前年度から継続を内数で示す。

※数字は、申請時・採択時点での件数である。

※（ ）は研究区分（1）の数字を内数で示す

1-1-2 受託研究費の受入

(1) 受託研究費受入額等について

研究担当者等	直接経費	間接経費	合計額	研究題目
伊藤孝	1,200,000	120,000	1,320,000	レアメタルを含む海底マンガン鉱床の多様性に関する地球科学研究
計	1,200,000	120,000	1,320,000	

(2) 共同研究経費受入額等について

研究担当者等	金額	研究題目	共同研究相手方
上地勝	300,000	高齢者向け健康体操プログラムの開発	株式会社ヒューマンサポートテクノロジー
榑守	500,000	深度センサーを用いた授業における生徒の認識技術の研究	公益財団法人日立地区産業支援センター
計	800,000		

1-1-3 寄附金受入額等について

寄附者	寄附金額	担当教員等	寄附目的等
三井住友海上福祉財団	750,000	榑守	視覚障がい用「横断歩道白線認識装置」の開発
公益財団法人河川財団	1,000,000	棗田孝晴	河床構造の異質性が生物多様性に与える影響の解明
教育学部後援会	2,400,000	教育学部	茨城大学教育学部における教育の振興に関する援助
計	4,150,000		

(附属学校)

寄附者	寄附金額	担当校等	寄附目的等
附属幼稚園教育振興会	1,200,000	附属幼稚園	茨城大学教育学部附属幼稚園における教育の振興に関する援助
附属小学校教育振興会	2,500,000	附属小学校	茨城大学教育学部附属小学校における教育の振興に関する援助
附属中学校教育振興会	8,922,297	附属中学校	茨城大学教育学部附属中学校における教育の振興に関する援助
附属特別支援学校教育振興会	625,000	附属特別支援学校	茨城大学教育学部附属特別支援学校研究助成金
計	13,247,297		

1-2 研究費の配分

教育・研究基盤経費教室等配分表

(千円)

教室等	教育経費	研究経費	配分額計	配分調整額	最終配分額	前年度配分額
国語教育	1,536	1,120	2,656		2,656	2,896
社会科教育	1,503	1,680	3,183		3,183	2,859
数学教育	1,068	1,680	2,748		2,748	2,449
理科教育	1,202	1,960	3,162		3,162	3,283
音楽教育	934.5	1,400	2,334.5		2,334.5	2,521
美術教育	1,035	1,680	2,715		2,715	2,201.5
保健体育	1,603	1,666	3,269		3,269	2,650
技術教育	835	1,400	2,235		2,235	2,236
家政教育	734.5	1,960	2,694.5		2,694.5	2,748.5
英語教育	734	1,120	1,854		1,854	1,993
障害児教育	1,836	1,400	3,236		3,236	3,363
教育保健	1,702	1,680	3,382		3,382	3,345
学校教育	1,069	2,800	3,869		3,869	3,568
情報文化教室	2,003	1,960	3,963		3,963	4,445
人間環境教育	1,336	3,640	4,976		4,976	4,865
学校臨床心理学	1,269	1,120	2,389		2,389	2,343
教育実践総合センター		560	560		560	578
客員教授		245	245		245	253
配分残額(共通経費へ)		75	75		75	42
合計	20,400	29,146	49,546		49,546	48,639

2 研究交流

2-1 サバティカル

増子和男 平成 27 年 4 月 1 日 から 平成 27 年 9 月 30 日

岩佐淳一 平成 27 年 5 月 24 日 から 平成 27 年 9 月 20 日

2-2 ポスドクの受け入れ

採用機関 日本学術振興会

川端 美季 平成 25 年 4 月 1 日 から 平成 28 年 3 月 31 日

受入教員 瀧澤 利行

採用機関 日本学術振興会

2-3 組織交流

2-3-1 学会

(1) 事務局が設置されたもの

名 称	役 割	担 当 者
日本工業技術教育学会	事務局	工藤 雄司
日本教育情報学会 第 31 回年会実行委員会	実行委員長	工藤 雄司
第 13 回日本教育保健学会	学会長	会長 瀧澤利行
第 25 回関東甲信越静性教育大会（茨城大会）	事務局	事務局長 廣原紀恵
茨城小児保健協会	事務局	会長 古池雄治 事務局長 瀧澤利行
教職員のための研修会	事務局	主任 廣原紀恵 事務局 斉藤ふくみ
iCeMS/CiRA クラスルーム 2015 in 茨城大学：幹細胞研究やってみよう！まずは観察から	事務局	事務局長 石原研治
全国地方教育史学会	事務局	事務局長 佐藤 環

(2) 学会開催（主催・共催したもので本学部教員がかかわったもの）

名 称	年 月 日	主催・共催	会 場	参加者数
-----	-------	-------	-----	------

日本教育情報学会 第 31 回年会	平成 27 年 8 月 29 日 ～平成 27 年 8 月 30 日	茨城県教育委員 会, 12 市町村教 育委員会, 茨城県 教育研究会, 茨城 県校長会, 茨城大 学後援	茨城大学教育 学部 D 棟 201, B 棟 203, 204, 205, 207, 208, 311, 312 教室	180 名
日本教育保健学第 13 回日本教育保健 学会	平成 28 年 3 月 5, 6 日	日本教育保健学 会	茨城大学教育 学部 D 棟 201 教室	320 名
第 25 回関東甲信越 静性教育大会 (茨 城大会)	平成 27 年 11 月 28 日	性教育研究会	イーアスホー ル	130 名
平成 27 年度茨城小 児保健協会総会・ 講演会	平成 27 年 7 月 29 日	茨城大学養護教 諭養成課程同門 会 (共催)	茨城大学図書 館ライブラリ ーホール	80 名
教職員のための研 修会	平成 27 年 7 月 29 日	教育保健教室・茨 城大学養護教諭 養成課程同門会 (共催)	茨城大学図書 館ライブラリ ーホール	80 名
全国地方教育史学 会第 39 回大会	平成 27 年 5 月 17 日	国立大学法人茨 城大学共催	茨城大学教育 学部 B 棟 207 室・ 208 室、茨城大 学図書館ライ ブラリーホー ル	65 名

2-3-2 講演・シンポジウム

名 称	月 日	主催・共催	会 場	参加者数
日本教育情報学会 第 31 回年会記念講 演「巨大津波にいか に備えるかー茨城 における 3.11 津波 被害と新しい対策 ー」講演者: 三村 信	平成 27 年 8 月 29 日	茨城県教育委員 会, 12 市町村教 育委員会, 茨城県 教育研究会, 茨城 県校長会, 茨城大 学後援	茨城大学教育学 部 D 棟 201 教室	180 名

男（茨城大学学長）				
日本教育情報学会 第 31 回年会シンポ ジウム「21 世紀に 必要な能力を育て るための教育情報 の役割」	平成 27 年 8 月 29 日	茨城県教育委員 会, 12 市町村教育 委員会, 茨城県教 育研究会, 茨城県 校長会, 茨城大学 後援	茨城大学教育学 部 D 棟 201 教室	180 名
ひらめきときめき サイエンス	平成 27 年 9 月 12, 13 日	共催: 日本学術振興 会・茨城大学	D102	33 名
iCeMS/CiRA クラス ルーム 2015 in 茨城 大学: 幹細胞研究や ってみよう! まず は観察から	平成 27 年 10 月 31 日, 11 月 1 日	共催: 京都大学 物質一 細胞統合システ ム拠点 (iCeMS), 京都大学 iPS 細胞 研究所 (CiRA), 茨城大学推進研究 プロジェクト「新 しい再生医療社会 を理解し迎えるた めのモデル教育の 創出と提言 (MERC) 代表 教育学部 教授 瀧澤 利行	D102	45 名

2-4 教育委員会との組織交流

2-4-1 教育学部委託生一覧 (前期)

番号	氏名	性別	勤務先	職名	研究主題	研究期間	教科等	受入教室等	受入教員	派遣元
1	サライ ヒロキ 櫻井 弘次	男	鎌田市立旭中学校	教諭	書写の基礎・基本の定着と言語生活に生かそうとする態度の育成 —目的や必要に応じて主体的に文字を書くための活動を通して— 未来につながる「話す・聞く能力」を育成する国語科授業とその評価 —演劇的手法を用いて—		国語	国語教育	齋木 久美	茨城県教育委員会
2	ヒエ 朋恵	女	茨城県立友部高等学校	教諭	多面的・多角的な見方や考え方を育てる社会科学習指導の在り方 —中学校第1学年歴史的分野「文明のおこりと日本の成り立ち」における少人数指導を事例に—		社会	社会科教育	鈴木 一史	茨城県教育委員会
3	ウヤマ シノブ 山 忍	男	神栖市立波崎第一中学校	教諭	数式的な思考力・表現力を高める算数科指導の在り方 —第3学年「小数」の学習における振り返る活動を通して—		算数	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
4	カミ 7人サ 曹我 あすさ	女	鹿嶋市立鹿島小学校	教諭	実感を伴った理解を深めるための指導の在り方 —「月と太陽」におけるモデル活用を通して—	平成27年4月1日(水) ~ 平成27年6月30日(火)	理科	理科教育	上栗 伸一	茨城県教育委員会
5	ホロミ 正夫	男	結城市立城南小学校	教諭	生徒が主体的に課題に取り組み態度を育てる技術・家庭科学習指導の在り方 —3年間を見通した指導計画の作成を通して—		技術・家庭	技術教育	大西 有	茨城県教育委員会
6	キノ 正顕	男	水戸市立第五中学校	教諭	思いや意図をもって表出するための学習指導の在り方		音楽	音楽教育	田中 健次	茨城県教育委員会
7	ハンバ 直子	女	水戸市立緑園中学校	教諭	読むことと話すことを統合的に育成する英語科学習指導の在り方 —コミュニケーション活動の場の工夫を通して—		外国語(英語)	英語教育	齋藤 英敏	茨城県教育委員会
8	シバ 悠	男	北茨城市立常北中学校	教諭	ICTを活用した各教科の技能習得を促す学習指導の在り方 —実践的・体験的な学習における学習指導の工夫を通して—		教育の情報化	技術教育	工藤 雄司	茨城県教育委員会
9	ワタベ 真良	男	小美玉市立竹原小学校	教諭	「校務の効率化を図るための校務の情報化の在り方」 —本質的業務の充実と子どもと向き合う時間の確保に向けて—		教育の情報化	学校教育	加藤 崇英	茨城県教育委員会
10	カネ 哲也	男	神栖市立太田小学校	教諭	自閉症児の情緒の安定を図る支援の在り方		特別支援教育	障害児教育	新井 英清	茨城県教育委員会
11	ホリ 聡子	女	日立市日立特別支援学校	教諭	障害児が働き続けるための指導の在り方	平成27年4月1日(水) ~ 平成27年9月30日(水)	特別支援教育	障害児教育	新井 英清	茨城県教育委員会
12	サト 重徳	男	茨城県立水戸高等特別支援学校	教諭	障害のある幼児の理解と指導の在り方 —通級学級と通常学級の連携を中心に—		特別支援教育	障害児教育	細川 美白紀	水戸市教育委員会
13	サト 悠子	女	水戸市立城東幼稚園	教諭			特別支援教育	障害児教育		

2-4-2 教育学部委託生一覧 (後期)

番号	氏名	性別	勤務先	職名	研究主題	受入期間	教科等	受入教室等	受入教員	派遣元
1	メカノ 前川 美和	女	水戸市立柳河小学校	教諭	児童が自ら学び、課題を解決していくための学習過程の在り方 ～「読むこと」における単元を貫く言語活動の位置付けを通して～	平成27年10月1日(木) ～ 平成27年12月31日(木)	国語	国語教育	昌子 佳広	茨城県教育委員会
2	ヒラノ 平井 良子	女	ひたちなか市立東石川小学校	教諭	主体的に学び、読む力を育む国語科学習指導の在り方 ～問いをもち、話し合う活動を通して～		国語	国語教育	川嶋 秀之	茨城県教育委員会
3	モノベ 物井 恵子	女	東海村立立中れ小学校	教諭	自分の考えを自覚的に表現できる児童の育成 ～言語感覚を磨く詩歌の創作活動を通して～		国語	国語教育	昌子 佳広	茨城県教育委員会
4	ノノ 鈴木 典子	女	桜川市立南藤田小学校	教諭	文章全体の構成の効果を考えながら書く力を身に付けるための国語科学習の 在り方 ～単元を貫く言語活動の工夫を通して～		国語	国語教育	鈴木 一史	茨城県教育委員会
5	イシカワ 石川 大	男	城里町立常北小学校	教諭	「主体的に学び、思考力・判断力・表現力を育成する社会科学習の在り方」 ～小学校歴史的分野における単元構成と言語活動の工夫を通して～		社会	社会科教育	木村 勝彦	茨城県教育委員会
6	ノノキ 藤田 知之	男	東海村立東海南中学校	教諭	社会的事象について考察し、判断したことを伝える力を育てる社会科学習指 導の在り方 ～地理的分野におけるツール・モデルを取り入れた授業構成を通して～		社会	社会科教育	村山 朝子	茨城県教育委員会
7	シノベ 柴田 雅明	男	日立市立十王中学校	教諭	生徒一人一人が課題意識をもち意欲的に取り組む中学校社会科学習指導の在 り方 ～公民的分野における単元学習カードの活用と話し合い活動の充実を通して～		社会	社会科教育	小野寺 淳	茨城県教育委員会
8	ミズノ 水谷 聖美	女	ひたちなか市立長郷小学校	教諭	数学的な思考力・表現力を高める算数科学習指導の在り方 ～自分の考えを書き、伝え合う活動を通して～		算数	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
9	キヨカ 鈴木 京子	女	高萩市立東小学校	教諭	数学的な思考力・表現力を育む指導と評価の工夫 ～「小数のかけ算」における問題解決的な学習を通して～		算数	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
10	カワボ 川久保 尚	男	神栖市立大野原小学校	教諭	筋道を立てて考え表現する力を育てる算数科学習指導の在り方 ～小学校5学年「四角形と三角形の面積」において、思考の過程を大切にし た授業を目指して～		算数	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
11	オノ 奥井 隆行	男	古河市立古河第六小学校	教諭	相俣をもつて表現する楽しさを味わう課題提示の工夫 ～「議論」に適した算数科学習課題の追究を通して～		算数	数学教育	根本 博	茨城県教育委員会
12	ワダ 和田 敦子	女	茨城町立明光中学校	教諭	科学的な思考力・表現力の育成を図る学習指導の工夫 ～科学的に探究する能力の基礎を身に付けさせるために～		理科	理科教育	松川 寛	茨城県教育委員会
13	ノノキ 藤田 則男	男	小美玉市立小川北中学校	教諭	科学的な思考力・表現力を高める学習指導の工夫 ～4Q5適用場面の洗い出しと仮説設定シートの改良を通して～		理科	理科教育	大辻 永	茨城県教育委員会
14	カモイ 永盛 圭一	男	那珂市立瓜連小学校	教諭	「できる」喜びを味わい、自ら意欲的に学ぶ体育科指導の在り方 ～第6学年「器械運動 マット運動」における集団活動を通して～		体育	保健体育	日下 裕弘	茨城県教育委員会

15	西村 香咲子	女	筑西市立新治小学校	教諭	ネット型ゲームにおける戦略的気づきを高める学習指導の在り方 —第4学年ハレールボール系ゲームの授業を対象に—		保健体育	勝本 真	茨城県教育委員会
16	高橋 正典	男	龍ヶ崎市立城西中学校	教諭	情報活用能力を高める学習指導の在り方 —発達段階に応じた体系的な情報モラル教育を通して—		技術・家庭	工藤 雄司	茨城県教育委員会
17	新木 宣明	男	筑西市立下館南中学校	教諭	技術を適切に評価し活用できる能力と態度を育成する学習指導の在り方に関する研究 —材料と加工に関する技術における題材の研究と開発を通して—		技術・家庭	野崎 英明	茨城県教育委員会
18	高橋 優子	女	笠間市立福田小学校	教諭	音楽を形づくっている要素を感じ取って聴く力を育てる鑑賞指導の在り方 —【共通事項】を生かした、表現の関連を通して—		音楽	田中 健次	茨城県教育委員会
19	日本 博音	男	古河市立仁連小学校	教諭	思いや意図をもって、思考・判断しながら表現を工夫する力を育む音楽科学習指導の在り方 —第4学年「おはやしや民ようを築しよう」における、音楽を形づくっている要素や仕組みの操作を基にした協同的な学習を通して—		音楽	藤田 文子	茨城県教育委員会
20	菅谷 智佳子	女	水戸市立第四中学校	教諭	基礎・基本の定着を図り、自己表現力を高める学習指導の在り方 —「話す活動」と関連付けた「書く活動」の工夫を通して—		外国語(英語)	猪井 新一	茨城県教育委員会
21	柳橋 哲子	女	日立市立東小沢小学校	教諭	集団の活性化を図る、自主的・実践的な態度を育成する指導の在り方 —個別り遊活動を通して—	平成27年10月1日(木) ～ 平成27年12月31日(木)	特別活動	杉本 憲子	茨城県教育委員会
22	二宮 幸織	女	つくば市立竹園東小学校	教諭	コミュニケーション力を高め、あたたかい人間関係を育む学級集団の在り方 ～アサーティブな自己表現を身に付ける活動を通して～		学級経営	青柳 路子	茨城県教育委員会
23	酒井 義成	男	かすみがうら市立霞ヶ浦中学校	教諭	主体的に学び、互いに認め合いながら成長しようとする生徒の育成を目指して ～コミュニケーション能力を高める指導を通して～		生徒指導	佐藤 環	茨城県教育委員会
24	石井 富美代	女	水戸市立笠原中学校	教諭	学校不適応の子どもを支援するための教育相談の在り方 ～教育相談体制の見直しとチーム援助の工夫を軸に～		教育相談	村野井 均	茨城県教育委員会
25	鈴木 由紀	女	ひたちなか市立那珂湊第二小学校	教諭	教育相談的機能を生かした児童生徒理解 学級経営の在り方 ～特別な教育支援を必要とする児童との関わりを通して～		教育相談	生越 達	茨城県教育委員会
26	會澤 貴臣	男	水戸市立内原中学校	教諭	自己有用感を育てる開発的教養相談の在り方 ～教育相談の進め方の工夫とスキルトレーニングを通して～		教育相談	三輪 壽二	茨城県教育委員会
27	市川 美代子	女	高萩市立秋山小学校	養護教諭	主体的に心身の健康づくりに取り組む児童の育成を目指した健康教育の在り方 —体験活動を取り入れた指導と学校・家庭・地域社会との連携の工夫を通して—		教育保健	青柳 直子	茨城県教育委員会

3 研究成果

3-1 学内刊行物

名 称	発 行	判型	頁数	発行部数	発行年月日
日本教育情報学会年会論 文集 31	日本教育情報学 会第 31 回年会 実行委員会	A4 版	327	300 部	平成 27 年 8 月 29 日
障害児教育研究集録第 46 集	茨城大学教育学 部障害児教育教 室	A4 版	70 頁	300 部	平成 27 年 2 月
現代教育の実践的課題	茨城大学教育学 部学校教育教室	A4 版	全 118 頁	900 部	平成 27 年 7 月